



町花：山百合

議会だより

12月定例会

No.174

古殿町議会

令和8年1月20日発行

議会議員の期末手当引き上げを否決	2
一般質問：道の駅拡張事業など9議員が21問.....	7
追跡レポート：交通安全対策.....	17
まちの企業紹介：(有) かくた	18



古殿町消防団出初式の通常点検
(1月11日 やぶさめアリーナ)



条例改正 町民の理解が得られないとして 議会議員の期末手当引き上げを否決



議会議員の期末手当 引き上げ討論

県の改正に準じて、期末
手当の支給割合を0.05
月分引き上げるもの。

Q 期末手当の引き上げは人事院勧告によるものか。

A 県の12月議会で上程された議案に準じるもの。

反対
討論

町民の理解が得られない

佐藤 一夫議員

都市部と地方の格差は広がり、物価高などによって生活苦を強いられている町民感情からすれば、大幅な引き上げでなくとも町民の理解を得られるものではないとして反対する。

否決

反対多数

町長等の期末手当 引き上げ討論

県の改正に準じて、期末
手当の支給割合を0.05
月分引き上げるもの。

Q 人事院勧告による条例の改正は行わなければならないものか。

A 県人事委員会の勧告にならった町の考えである。

反対
討論

発議されるのが問題

岡部 淳一議員

条例改正の発議は町執行部の考えによるものであり、住民生活状況を考慮したならば、この条例が発議されることが問題だとして反対する。

可決

賛成多数



Point

人事案件

固定資産評価
審査委員会委員の
選任に同意



住所 山上市仮宿
期間 令和7年12月24日
令和10年12月23日
橋本 富夫氏



住所 鎌田字滝
期間 令和7年12月24日
令和10年12月23日
大楽 勝男氏

12月定例会など 議案審議と各議員の賛否

第2回臨時会(10月20日)

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第59号	工事請負契約の締結について 道の駅ふるどの敷地拡張工事を6,930万円で株式会社トーホクオカベが落札	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回臨時会(11月25日)

議案第60号	令和7年度古殿町一般会計第3次補正予算 調整給付金の不足額給付金確定により292万円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
--------	--	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

12月定例会

議案第61号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 県の改正に準じて期末手当等を引き上げる	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	古殿町火入れに関する条例の一部を改正する条例 名称変更による改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 大楽勝男氏を再任する(P3掲載)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 橋本富夫氏を再任する(P3掲載)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	古殿町辺地総合整備計画の変更について 松川辺地の総合整備計画の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和7年度古殿町一般会計第4次補正予算 職員給与の改正などにより2,547万1,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和7年度古殿町国民健康保険特別会計第3次補正予算 医療費の増などにより4,996万7,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和7年度古殿町介護保険特別会計第2次補正予算 システム改修などにより166万7,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	令和7年度古殿町後期高齢者医療特別会計第2次補正予算 システム改修により2万8,000円を増額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 県の改正に準じて期末手当を引き上げる(P2に掲載)	否決	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
議案第71号	町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 県の改正に準じて期末手当を引き上げる(P2に掲載)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第72号	令和7年度古殿町一般会計第5次補正予算 期末手当の引き上げにより24万6,000円を増額する	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議員発議第4号	米の安定供給等を求める意見書の提出について 農家が安心して米を生産し、国民に安定供給できるよう求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

こうざきまち ほこたし
千葉県神崎町・茨城県鉾田市を視察研修

特色ある産品づくりの取り組みに向けて



産業建設常任委員会研修

9月25日から27日まで産業建設常任委員会の視察研修を行った。千葉県神崎町では道の駅「発酵の里こうざき」、茨城県鉾田市では深作農園を視察し、地域の特産品づくりの取り組みを研修した。

道の駅発酵の里こうざき

- ・神崎町では「発酵の里」でまちおこしを展開
- ・規模の小さい町を強みとして行政と町民が連携を取りやすい環境
- ・昔からある「みそと酒」を活用
- ・全国各地の発酵食品を取りそろえた専門店、発酵食品を使ったレストランやラーメン屋が人気

行政、商工業者、地域が一体となった「発酵」のまちづくりが経営戦略



発酵の里こうざきで研修を受けた議員

ふかさく

深作農園

- ・土づくりにこだわった環境配慮型の栽培方法
- ・多様性を重視した従業員の採用方針
- ・体験型農業を通じて農業の魅力を伝える
- ・6次化商品の開発で生産から販売まで手がける

農産物の生産から直売、体験型農業、6次化商品の開発、販売、カフェ経営など多角的な事業展開



深作農園で説明を受ける議員

常任委員会の活動

総務常任委員会

大原小学校跡地等を視察 公有財産の有効活用を

総務常任委員会は大原小学校跡地、イセ食品工場跡地を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



大原小学校跡地を視察する議員

意見

(大原小学校跡地)

- ・体育館を利用するには消防用設備の措置や、耐震性などの確認を。
- ・譲度する際には、一定の範囲での公募は必要。

(イセ食品工場跡地)

- ・雇用の場の創出として取得したため、現状で売ることには考慮が必要。
- ・公有財産規則に則った公募での売却が望ましい。

産業建設常任委員会

町営住宅前木団地等を視察 工事の進捗を確認

産業建設常任委員会は町営住宅前木団地建築工事、玉川村の森の駅Yodgeを視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。また、付託された請願を審査し、1件を採択としました。



前木団地建築工事の現状を視察する議員

現状

- ・12月末の進捗は75%になる予定。
- ・残りの25%は主に外溝工事。

意見

- ・前木団地の山側の立木伐採が必要。
- ・引き続き安全な工事を。
- ・良質な住宅となるよう監督を。

議会全員協議会

令和8年度予算編成に向けて

議会録画中継の配信を要望

町民への情報公開を一層推進するため、町長に対し、一般質問の録画中継インターネット配信実施の申し入れをしました。



インターネット配信のイメージ

意見

- 平日の昼間に議会傍聴に来られない方も多い。
- 議会だよりには基本答弁を掲載している。再質問を知りたい方は会議録を読むしかない。
- 町民の政治参加意識や町政への関心を高めるのに有効。
- 議会活動の透明性を高め、町民に説明責任を果たすことが議会と町政の信頼性を向上させる。

⇒以上のことから要望する

イセ食品工場跡地・大原小学校跡地

町財産の有効活用を協議

町長から提案のあったイセ食品工場跡地について、町内企業から譲度の申し入れがあったため、方向性を協議した。



有効活用が望まれるイセ食品工場跡地

概要

- イセ食品工場跡地と大原小跡地（体育館を含む）について町内企業2社から譲度の申し入れがあった。

意見

- 公平性を期するため公募での入札を実施するのが妥当。
- 以前も随意契約での譲渡があったので問題ないのでは。
- 旧大原小体育館の安全性は確認できたのか。

⇒意見を受けて、再度検討

一般質問

ただ 町政を質す

- ☒ 町民の声を伝える
- ☒ 町政に生かす
- ☒ 町の考えをただす

12月17日、18日に9人の議員が21問の一般質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

野崎 喜彦 議員8

- (1) 公共施設・インフラ等の維持と管理について
- (2) 令和7年度執行予算の検証と8年度の一般会計予算編成について

鈴木 隆 議員9

- (1) わが町におけるラジオ難聴解消について
- (2) こおりやま広域圏立地企業交流セミナーに対するわが町の関わりについて
- (3) 福島くらし&しごとフェア2025出展による町の成果について

根本 太郎兵衛 議員10

- (1) 千年の森育成事業の目的について
- (2) 町公民館および地区公民館事業について

根本 重一 議員11

- (1) 公共施設の維持管理について
- (2) 生成AIの活用とDXの推進について
- (3) 遊休農地対策について

佐川 勇司 議員12

- (1) 農業の活性支援について
- (2) 新・道の駅の取り組みについて
- (3) 森林管理支援について

佐藤 一夫 議員13

- (1) 地域交通最適化事業はいつ実用化されるか
- (2) 在留外国人との共生を持続するための支援や対応は

岡部 淳一 議員14

- (1) 町で暮らしたい働きたい若者達への対応策
- (2) 補聴器購入補助制度実施への取り組み
- (3) 町営住宅および高齢者居住施設の現状と今後の考え方

松崎 法通 議員15

- (1) 道の駅拡張事業と特産物への考え方を問う
- (2) 町財政における公債費の在り方を問う

木戸 久康 議員16

- (1) 町政の現況を問う

Q 公共施設・インフラ等の維持管理は

A 中学校校舎は今後の在り方の協議・検討を進めている



建て替え時期を迎えた中学校校舎

少子高齢化に伴う急激な人口減少社会の到来により、税金削減は避けられず、逆に扶助費の増や交付税の縮減によって、公共施設の維持管理に充てられる財源の減少は避けられない。

町長 8施設ある。

野崎 除却、売却、統廃合を検討している建物。

町長 「町公共施設個別計画」で12棟の統廃合を検討している。高房青少年自然の家は、除却の対象。

野崎 遊休財産中、土地の売却や有効利用計画は。

町長 順次、個別に売却や貸付もしくは保全管理をしている。

野崎 計画では、旧論田小と旧大原小体育館は更新しないとあるが、今後の維持管理は。



のどき 野崎 よしひこ 議員

Q 令和7年度執行予算の検証と8年度の一般会計予算編成は

A 物価高騰に資する取り組みを検討中

予算検証

町長 旧論田小は、隣接する施設の排熱を利用している。旧大原小体育館は土地とともに譲渡を考えている。

野崎 古殿中は耐用年数50年を経過しているが（目標耐用年数は70年）今後の計画は。

町長 今後の在り方について協議・検討を進めている。

自主財源の確保が厳しさを増す中、依存的予算編成にならざるを得ないが、町民の暮らしを最優先とした積極的予算編成が望まれる。

野崎 デマンドバス運行事業の現状と令和8年度の計画・見通しは。

町長 料金体系や対象者、運行方法、運行範囲などの検討に時間を要し、運行に至っていない。早期に運行できるよう努める。

野崎 国の「重点支援地方交付金」における「食



改良工事が進む町道下論田鵜巣線（論田字袖薄地内）

料品高騰対策」に対する町の考えは。

町長 食料品高騰だけでなく、直面する物価高騰に資する取り組みの実施を検討中。

野崎 令和8年度に向けた「道の駅ふるどの拡張事業」の進捗計画は。

町長 造成工事の残りの部分の発注と建物の建築工事を進めたい。

野崎 令和8年度の道路網の整備で、新たな整備計画はあるか。

町長 予算編成中であり、確定には至っていない。



鈴木 隆 議員

Q 今までラジオ放送の受信改善を求める声はあったか

A ラジオが入らないという声はあった

公共放送難聴対策

鈴木 総務省の補助事業「民放ラジオ難聴解消支援事業」制度活用を検討はしなかったのか。

町長 当該制度を活用すべく放送事業者に相談したが、事業実施には至らなかった。

鈴木 既に県内4自治体で25局、公設民営の受信対策中継局がラジオ難聴解消対策として設置されている。

町長 今後、他市町村の事例を参考に検討する。

商工振興支援

Q 「こおりやま広域圏立地企業交流セミナー」開催でどのような話し合いが持たれたか

A 今年度、郡山市から広域圏として開催と説明を受け、共催の依頼を受けた



企業交流セミナーの様子

鈴木 町内企業発展の無により雇用や税収が当然、影響されると考えられる。

町長 町が主体的に行っている関わりは、特になかった。

Q 有楽町で開催された「福島くらし&しごとフェア2025」で町ブースへの来訪者は

A 来訪者は3名だった

移住定住対策

鈴木 地域おこし協力隊採用につながる情報提供や、それに対する問い合わせはあったか。

町長 情報提供は行ったが、問い合わせはなかった。

鈴木 今回の成果を次年度の主要事業にどのように反映させるのか。

町長 フェアへの参加人数から、福島県への移住希望者が一定数いることが分かったため、情報発信のため、地域の情報収集を行い、移住定住の事業を進めていく。



ブースで町の説明を受ける来訪者

Q 千年の森育成事業の目的は

A 森林資源と森林の持つ
多様な機能の維持に
寄与している

林業振興



ねもと たらうべえ
根本 太郎兵衛 議員



植林整備された山林
(田口字松森地内)

町長 千年の森育成事業の所期の目的は何か。今年で何年目か。

根本 千年の森育成事業の補助金の累計額は。約5億4500万円。

町長 現在のところ計画はない。町内には間伐により整備された森林も多く、町内での研修も可能ではないか。

根本 千年の森育成事業の視察・研修に来た個人・団体はあるか。

町長 町の林政全体において何件か視察研修を受け入れたことはある。

根本 千年の森育成事業の視察・研修に来た個人・団体はあるか。

町長 現在のところ計画はない。町内には間伐により整備された森林も多く、町内での研修も可能ではないか。

根本 千年の森育成事業の視察・研修に来た個人・団体はあるか。

町長 町の林政全体において何件か視察研修を受け入れたことはある。

町長 森林整備が進み、森林資源の維持と多面的機能の発揮に寄与していると認識している。

根本 千年の森育成事業の視察・研修に来た個人・団体はあるか。

町長 現在のところ計画はない。町内には間伐により整備された森林も多く、町内での研修も可能ではないか。

根本 千年の森育成事業の視察・研修に来た個人・団体はあるか。

Q 町公民館や地区公民館の事業は

A 体力向上や親睦などを目的に
実施している

公民館事業



古殿町で撮影された映画の
パンフレット

町長 公民館事業は「星空観察教室」、「馬とのふれあい教室」、「高齢者学級」、「町民水泳大会」、「婚活イベント事業」がある。地区公民館事業は「運動会」、「カローリング大会」、「ウォーキング」などに取り組んでいる。

根本 「村をつくる青年学級」の映画のフィルムは、現在どうなっているか。

町長 公民館で保管している。

根本 現在の町公民館事業・地区公民館事業で特筆すべきものは。

町長 町公民館事業は「星空観察教室」、「馬とのふれあい教室」、「高齢者学級」、「町民水泳大会」、「婚活イベント事業」がある。地区公民館事業は「運動会」、「カローリング大会」、「ウォーキング」などに取り組んでいる。



ねもと しげかず
根本 重一 議員

Q 公共施設の管理運営業務は

A 「指定管理者」が36施設を管理運営している

根本 指定管理者が管理運営する課題は。
町長 築年数がかさんでいる施設は、維持管理費が上昇している。
根本 主な公園の維持管理は。
町長 業者に委託して、定期的に芝刈り・草木の手入れ・草刈りを実施している。



安全点検された公園の遊具

根本 公園等の「遊具」の管理は。
町長 職員による定期的な確認と、業者に委託して安全点検も実施している。
根本 公共施設の再生可能エネルギーの活用は。
町長 役場庁舎と公民館は、太陽光発電の電力を蓄電池に充電し、小学校・滝ノ平集会所では施設利用、売電している。

根本 公共施設の「再生診断」は。
町長 現状では行っていない。

DX 推進

Q DXの活用、生成AIの導入は

A ペーパーレス化が進んでいる
生成AIは導入されていない

根本 職員減少での、生成AIの活用は。
町長 導入を検討中。
根本 高齢者の見守りにおけるAI技術活用は。
町長 緊急通報システムは、安否確認を電話で実施。変更の予定はない。
根本 消防団・防災分野のDX支援は。
町長 消防団は、アプリシステムを運用。防災は、県の防災システムなどを構築している。
根本 データ活用戦略は。
町長 データセンターの誘致、スマート農業推進への情報提供を実施する。

Q 農業従事者の推移は

A 担い手の高齢化、後継者不足で総農家数が減少している

農業振興



遊休農地の解消対策は

根本 農地利用の集積・集約化は。
町長 地域計画を策定し、現状耕作者の営農継続と担い手を中心に集積・集約化を整理した。集約は進んでいる。
根本 遊休農地の粗放的利用は。
町長 大豆の生産拡大と果樹の苗木補助を推進している。
根本 バイオ燃料用の「ソルガム」栽培を活用する可能性は。
町長 県内で研究が進んでおり、土地利用の選択肢として可能性がある。
根本 営農型太陽光発電の設置はあるか。
町長 現在設置はない。

Q ドローン機械導入に補助金を A 状況を確認し検討する

農業施策



さがわ ゆうじ 議員
佐川 勇司



耕作放棄地の現状

- 遊休農地・耕作放棄地の拡大の状況下**にあり、維持管理も含め、活性化支援が望まれる。
- 佐川** 農地全体の面積に対して遊休・耕作放棄地合わせた面積は。
- 町長** 耕地面積約682ヘクタールに対して遊休・耕作放棄地合わせた面積は約30ヘクタール。
- 佐川** 遊休・耕作放棄地対策は。
- 町長** 今ある支援の推進と利便な方策を検討する。山林に近い場合は植林し、山林にするのも方策と考える。
- 佐川** 多面的機能支払交付金事業、中山間地域等直接支払交付金事業の現況と今後は。
- 町長** 両交付金事業とも今年度から5年間で始まり、農地の保全に取り組んでいただいている。今後は国の政策を注視する。
- 佐川** 経営所得安定対策交付金事業の現況と今後は。
- 町長** 取り組む農業者は減少している。令和9年度から作物ごとに支援する仕組みになると聞いている。



全伐の現況

Q サツマイモ6次化 食品はどうか A 参考にする

道の駅

- 佐川** 農業管理にドローンが活躍しており、資格取得支援や機械導入補助金に対象機種を追加できないか。
- 町長** 町内の取り組み状況を確認し検討する。
- 佐川** 現行形態から商業者や農産物生産者の出資者を含めた運営形態への移行を検討しては。
- 町長** 現状の運営形態を維持する。
- 佐川** 特産品開発の現状は。
- 町長** 大豆の新品種を開発した。今後も新たな特産品開発に向け検討する。
- 佐川** 発酵食品などを取り入れた特産品やサツマイモ6次化食品開発は。
- 町長** 生産する作物も含め、今後参考にする。

Q 造林補助の支援を A 支援を検討する

林業施策

- 佐川** 森林環境を維持するためにも造林計画と対応は。
- 町長** 森林経営計画策定、造林の届出の際に指導している。
- 佐川** 現況の造林補助では厳しいと聞く。国県への要望も含め、町独自の支援策が必要では。
- 町長** 収入や経費について調査中。その結果を踏まえ、今後の支援を検討する。

鎌倉岳を愛する会設立総会 12月21日(日)に存続が危惧されていた鎌倉岳観光協会の後継団体として「鎌倉岳を愛する会」の設立総会が開催された。次年度から事業開始となるが、前団体の事業を継承し、町の観光振興に資するための会規約、事業計画等が協議後承認され、新たな船出を誓い合った。(鈴木隆)

地域交通

Q 地域交通最適化事業はいつ実現化されるか A 早期に運行が行えるよう努める



さとう かずお 議員
佐藤 一夫

令和元年度から事業実施に向け取り組まれたが、7年が経過しようとした現在、デマンド型交通運行の業務委託も実施されていない。時間と経費がかかり過ぎと言わざるを得ない。



最適化が求められる地域公共交通

何が原因で事業が進捗しないのか、事業の現状と、どう進めようとしているのか伺う。

佐藤 地域交通最適化事業はいつ実用化されるか。

町長 令和元年度から3年度にかけ、交通関係の専門業者に調査委託を行った。その後、最適な公共交通にはデマンド型の運行が必要との判断から、その対象者、運行方法、運行範囲などの検討に時間を要した。利用する方から相応のご負担を

Q 在留外国人との共生を持続するための支援は

A 言葉と情報のバリアフリー化を図る

多文化共生

いただく考えであることから、国土交通省が定める公共交通会議が必要であり、現在も運行に至っていない。今後早期に運行が行えるよう努める。

少子高齢化に伴う労働力不足を補うために技能実習生など、わが町には多くの外国人が滞在している。過疎化が急速に進む現状で大きな役割を担っている。今後も増加が予想される外国人との共生を持続されるために伺う。

佐藤 町に登録されている外国人の人数は。

町長 110人。

佐藤 外国人の存在意義についてどう受け止めているか。また、日常において相談等はあるか。



町長 労働力不足の解消と産業維持に資するとともに、地域社会の担い手と多様性の観点からも重要である。相談等はない。

佐藤 健康保険税等の未払は発生しているのか。

町長 国民健康保険税は納付されている。

佐藤 地域住民との共生を図るための施策は。

町長 ユニバーサルデザインを考慮した看板の表示等、言葉と情報のバリアフリー化を図る。

12月定例議会を傍聴 12月17日(水)に田口地区公民館事業の一環として恒例となっている定例議会「一般質問」の傍聴に13人が参加しました。この行事に数回参加しているという60代の男性は「通常、平日の開催ということでなかなか傍聴できないが、町の課題などを知ることができとても良い機会だった」と話した。(野崎喜彦)

若者施策

Q 町で働きたい若者への施策は

A 石川地方企業合同説明会を石川郡内の高校生対象に実施する



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員



合同企業説明会の案内

- 岡部** 地方創生の中で定住促進の仕組みはあるか。
- 町長** 県と共同した移住支援金事業や地域おこし協力隊制度活用で定住促進に努めている。
- 岡部** 一度町を出るのもやむなし。では戻ってくるために何をすべきか。
- 町長** 町出身者向けイベントや交流事業の実施、Uターン窓口機能強化などで継続的な関係性の維持と情報提供が重要。
- 岡部** 働く場の確保で管内共同の取り組みが提案されるが具体的内容は。
- 町長** 「石川地方企業合同説明会」を開催し、石川郡内の企業、事業所が石川郡内の高校生や参加を希望する高校の1、2年生対象に説明会を実施する。
- 岡部** 働く場の地理的状况、通勤範囲についてのどのように考えるべきか。
- 町長** 石川管内や近隣市町村への通勤はしやすくなっている。
- 岡部** 奨学金返済支援に伴う定住対策の方向性は。
- 町長** 考えていない。
- 岡部** 中学生議会の質問ですぐ取り組めるものは。
- 町長** 検討している。

Q 補聴器購入補助制度の実施は

A 現時点では考えていない

難聴対策



- 加齢性難聴により日常生活に支障がある高齢者が多くなっている。そこで、補聴器購入費用補助を実施する時ではないかとの思いから、次の点について伺う。
- 岡部** 補聴器購入補助制度を知っているか。
- 町長** 国・県の補助制度については承知していない。
- 岡部** 全国展開となっているが、県内状況は把握しているか。
- 町長** 県内の3割程度の自治体で取り組んでいると認識している。
- 岡部** もはや、わが町でもとの考えから、実施を提案する。
- 町長** 現時点では考えていない。
- 岡部** 認知症などの関連性についての認識は。
- 町長** 人との会話が認知症に良い影響を与えることは、一般的に多く言われている。加齢性難聴により会話が思うようにならない状況は、影響があると考える。

その他の質問
「町営住宅および高齢者居住施設の現状と今後の考え方」の質問も行いました。

道の駅事業

Q 道の駅拡張事業と特産品の考え方は

A 新たな出荷者確保に努めていく



まつざき のりみち
松崎 法通 議員

松崎 造成工事は擁壁工事を含めて完了するのはいつか。

町長 令和8年度末までに完了する予定。

松崎 現在、駅舎に入る食堂など店舗の応募状況は。



委員会研修先での特産品のサツマイモ
(茨城県鉾田市)

町長 今年度、町内向けに出店希望調査を実施し、応募があった。今後は説明会を行い、出店者を選定する。

松崎 町の売りとする地元特産品の必要性をどう考えるか。

町長 おふくろの駅農産物出荷者協議会による栽培講習会や先進地視察、販売所研修会の実施など、知識の向上、生産意欲の向上に努めている。

Q 町財政における公債費の在り方は

A 今後の見通しは予断を許さない状況

公債費



造成工事が進む道の駅

松崎 遊休農地解消の一環として、果樹栽培を推奨しているが、作物の出荷をどう考えるか。

町長 町の特産品を増やす意味でもおふくろの駅に出荷していただき、作物によってはJAへの出荷も推進したい。

松崎 令和6年度の実質公債費比率が下がった要因は。そして今後の見通しは。

町長 令和5年度中に償還を終えた地デジ対策事業などが反映されている。金利の上昇も予想され、今後の見通しは予断を許さない状況。

松崎 道の駅拡張事業の起債額の想定は。

町長 国の補助金の採択によつては大きく変わるから、現時点で確定していない。

松崎 道の駅拡張事業などの地方債の償還で、公債費が多額になるのは令和何年くらいか。

町長 現時点では令和13年度から公債費が上昇すると考えている。

火の用心 1月18日(日)に竹貫愛宕神社において宮司による祝詞奏上はじめ、無火災祈願、火伏せの祭典が執行された。消防を含む区内各役員が参列し、元々正月行事として神社前で獅子舞も実施していたが、現在は消防団による夜警を行っている。昔から火に対する敬意と火の用心は現在も続いている。(松崎法通)

公共事業

Q 町政の現況を問う

A 道の駅造成工事は順調に推移している

憲法で国民は最低限の生活を営む権利が保障されています。したがって町も町民が幸せを感じて生活できるようにソフト面、ハード面でバランスの取れた予算を編成して議会の承認を得て執行するわけです。

議会は町長の考えを聞き可決、否決をするわけで、可決された事業は確実に速やかに執行することが求められます。



きど ひさやす 木戸 久康 議員

木戸 生活保護の決定はどのような手順を踏むのか。

木戸 前木団地の入居者募集はどのような手順で進めるのか。

町長 生活困窮者の相談を受けた関係機関等から町に連絡が入り、町で

町長 現在の西渡団地へ入居されている方から

ご本人などから状況をお聞きし、書類を整え県に申請する。申請を受けた県が現地調査、本人からの聞き取り等を行い、生活保護の決定については県が行う。

の希望入居を優先し、その後行政だより等により入居募集を行う予定。



完成が間近に迫る前木団地



遊休財産となっている大原小跡地

木戸 イセ食品跡地、大原小学校跡地の現在は怎么样了。

うち令和6年度繰越予算に係る工事が完了し、今年度予算に係る工事は順調に推移している。

町長 売却する土地の境界等の確認や方法を検討している段階。

木戸 公共交通事業はどうなっているのか。

木戸 新・道の駅はどのような工事が進んでいるのか。

町長 早期に実証運行ができるよう検討を進めている。

町長 委託業務については、新しい建物の実施設計を行っており、工事については、造成工事の

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 交通安全対策

Q 令和5年6月一般質問から

停止線や標識のない町道交差点の改善は。

A 町長答弁

安全対策を実施する。

町の道路がより安全
になるといいね。

しみもっちー

平成27年の
中学生議会で誕生！



その後の
対応

カーブミラー等を設置

町民から要望のあった標識等のない交差点に順次カーブミラー等が設置されている。



カーブミラーが設置された交差点
(松川字陣場地内)

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

3月上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町

検索

町議会へ



古殿町議会

まちの企業紹介

No.22

今回紹介するのは、「(有)かくだ」の皆さんです。

***会社の設立を教えてください。**

昭和 53 年創業。

昭和 53 年創業開始以来、古殿レンタカーとして、バスのリース事業、観光・スポーツ各種大会や冠婚葬祭場への送迎など多種多様な事業を行ってまいりました。

昭和 58 年に(有)かくだとなり、貸切バス事業部門「みらい観光バス」と葬祭部門「かくだ葬祭センター」の両事業を展開しております。地域の皆様に支えられ共に歩み続けております。



快適な旅を提供する貸切バス

***会社における基本的な考え方は何ですか。**

地域の皆様に愛され貢献できる親しみやすい会社づくりを。

「みらい観光バス」は「快適な旅、安全・安心をモットーに!」、「葬祭事業」においては「もしもの時が訪れた場合には、安心、信頼、お一人お一人を大切に、誠心・誠意を持ってお客様に対応する」。

各事業部門とも地域の皆様に愛され、貢献できる親しみやすい会社づくりに励んでおります。従業員 20 名がこれを念頭に置き、日々向上に努めております。



(有)かくだの皆さん

議会だより

編集特別委員会

委員長	野崎 喜彦
副委員長	鈴木 隆
委員	根本 重一
委員	根本 太郎兵衛
委員	松崎 法通

新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。
 今年は午年となります。馬が力強く前進する姿になぞらえ、町政においても一つ一つの施策が着実に前へ進み、「すべてがうまくいく」一年となることを願っております。
 また、60年に一度巡ってくる丙午(ひのえうま)の年は、変化や転換の節目とも言われています。社会情勢が大きく動く中にあっても、議会として町民の声に真摯に耳を傾け、課題に正面から向き合いながら、将来に希望をつなぐ議論を重ねてまいります。本年も町政へのご理解とご協力をお願いいたします。
 (根本重一)

編集後記